

1 平成 21 年 9 月中間期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 9 月中間期	32,507	13.0	723	53.3	817	49.9	416	52.4
20 年 9 月中間期	37,385	3.2	1,549	55.0	1,632	58.7	874	14.8
21 年 3 月期	83,976	-	4,368	-	4,503	-	2,565	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21 年 9 月中間期	61,686	26,984	42.1	1,725	11
20 年 9 月中間期	69,502	25,286	35.9	1,559	76
21 年 3 月期	73,447	26,719	35.1	1,709	77

(注) 連結対象会社は 5 社

2 平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	70,000	16.6	2,900	33.6	3,000	33.4	1,550	39.6

上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

建設業界は、民間建設投資の急減から国内工事全体の縮減傾向が加速し、需要が低迷する厳しい事業環境で推移いたしました。

こうした環境の下、重仮設業界においても価格競争が激しくなり、昨年の資材仕入れ価格の高騰による影響もあって、売上・利益ともに確保することが非常に厳しい状況となりました。

当下半期の見通しとしましては、政府による公共投資の見直しに伴う工事の中止といった事態にも直面し、事業環境はさらに厳しくなると思われます。当社はグループ全体での事業基盤を更に強化し、利益を確保すべく取り組んでまいります。

以 上